

【実施概要】

イベント名 : 想像しよう、未来のまちの勾当台公園 みんなでワークショップ
 日時 : 令和4年11月5日(土)
 会場 : 仙台市役所本庁舎2階第一委員会室・勾当台公園
 目的 : 公園の散策を通して勾当台公園の魅力や課題について意見交換を行い、今後の勾当台公園の利活用や施設配置、管理運営の計画づくり活かすもの。
 実施内容 : 参加者(視覚障がい者、外国人、子育て世代、学生等)に勾当台公園を実際に散策してもらい、基本構想に示す再整備の方向性の<テーマ>に関するモノを見つけ、意見交換する。
 ファシリテーター : 吉川由美氏 ((有)タ・ハ プランニング・ワーク代表取締役)
 参加人数 : 22名

【歴史の広場】

<歴史と誇り>

- ・古図広場の奥のところに四谷用水の跡があり、水が流れると良い
- ・古図広場に水が張って残念
- ・古図広場のジオラマが、排気ガスや落葉などで汚れて残念

<おしゃれ>

- ・古図広場の立体的な模型が、特注品で貴重なもの
- ・古図広場に昔は水が張っていたと聞いた。水を張れば更にオシャレになると思う
- ・古図広場に水を溜めて、ホテルを育てようという取組みが昔あった。都心部にホテルが舞ったら素敵

<バリアフリー>

- ・加齢で足も上げにくくなるので、スロープがあるのは嬉しい
- ・視覚障害者は、舗装の種類が変わると白杖の感触が変わり、不安になる
- ・堀があるのに、水が流れていなくてほしいし、段差が分かりづらくて危険

<自然との共生>

- ・古図広場の地図は清掃すると真っ白になる。落葉や鳥の糞で汚れて残念
- ・樹木にハトがたくさんとまっていて、下に糞が落ちて

<リラックス>

- ・道路が近いのに静か
- ・ハトの動きを見ながら写真を撮ったりして、リラックスできる
- ・素敵な景色がたくさんあったので、そこにベンチを置けば良いと思う

<多文化共生>

- ・普段好きなことは自分から行かないと見れなかったり、仲間内で終わることが多いが、公園では見る側も活動する側も、その場で一緒に楽しむことができる
- ・公園内での催しを看板等で発信し、もつかわるようなれば良い

【にぎわいの広場】

<歴史と誇り>

- ・クラク時代から残る樹木が美しく大きく育ち、立派に残っている
- ・カフェ前広場付近にある大きな木は、戦後焼野原になった後に植えられたものと知った。歴史があるのに説明書きが無ければ、大きな木があるな、で終わってしまう

<おしゃれ>

- ・滝前から合同庁舎に向かって見る景観が美しい。都市と自然が調和している
- ・水音を聞きながら歌声も聴ける「音のオシャレ」。視覚障害者は公園に来ると、音も楽しみの一つ
- ・カフェやテラス席で多くの人リラックスしていた。新緑の時期や、夏なども楽しんで良い
- ・地下駐車場の出入口が鏡面加工されているデザイン
- ・花壇が小学校のような雰囲気だった。模様のようになれば、周辺建物から見ても楽しめる

<バリアフリー>

- ・市民広場のステージ脇に、車いすスロープが設置されている
- ・東側、歩道と公園の境界に段差が無フラットが良い
- ・227sカフェ脇のトイレ東側は段差解消されているが、西側の段差は解消されていない

<自然との共生>

- ・クラク時代から残る樹木(ヒマラヤシダー)と定禅寺通りのケヤキの紅葉が、ゴスペルと相まって美しい
- ・花壇の花に癒されるが、車の音などが気になった。

<安全性>

- ・カフェ前の円形の沈床庭園部は、階段上部に段差ブロックがないので分かりにくい

<リラックス>

- ・ベンチの向きは、日当たりや景観を意識して設置するべき
- ・カフェ前広場でイベントが開催されていて、賑やかで良い雰囲気

<多文化共生>

- ・ゴスペルを聞きながら、来園者が楽しんでいて、歌うことが好きな人がいて、通りすがりの人が立ち止まって踊ったりするシーンが素敵
- ・イベントが開催されていても、道路工事の音がうるさくて、ゴスペルの声は近くに行かないと聞こえない



《フィールドワークで撮影した写真》



《再整備コンセプトを“KEEP IT OOOO”で表すと...》



《案内チラシ》



【いこいの広場】

<歴史と誇り>

- ・河岸段丘がむき出しの状態に残る土手の部分は、上町段丘と中町段丘の境であり、非常に貴重な場所。是非、河岸段丘の地形は活かしたい
- ・「志賀潔」の彫像に説明書があり良かったが、歴史の広場に置いていないのが不思議
- ・下段の踊っているドラマチックな彫像に、名前も説明もない。歴史があるものだと思うので、説明書き等でわかるようになると良い

<おしゃれ>

- ・「平和」という彫像がおしゃれなのに説明が無い。もう少し彫像の説明があれば良いが、今は名前と設置時期以外の情報が無い
- ・河岸段丘を利用した滝と、奥にハトが居る景色が美しい

<バリアフリー>

- ・中央部の階段の手すりが波状で、階段に合わせた形状で使いやすい
- ・階段や段差が多く、ベビーカーは完全にお手上げ状態

<自然との共生>

- ・モミジのグラデーションが美しく、紅葉狩りに行かなくてもここで楽しめる
- ・都心部でまとまった紅葉が見るのは素晴らしい。日本の四季を感じる
- ・段差高低差の奥に向かって深まる紅葉と合同庁舎が見え、コントラストが美しい

<安全性>

- ・稼働していない噴水の段差が危険で、ケガをしよう。夜は更に危険
- ・交差点や道路の近くは車の音が大いだが、樹木などがあれば少し離れただけで音が小さくなる
- ・あちこちに木の根の段差があって危ない。夜はもっと危ない
- ・段丘沿いの堀と園路間に樹木やベンチがあり、幅が狭くて危険

<リラックス>

- ・水の音が心地良い。自然に耳に入ってきてリラックスできる
- ・子供が水遊びできる貴重な場所。夜にライトアップして、ジャズを流したりしても良い
- ・ミニ喫茶があり、コーヒーなどがテイクアウトできる。音楽を聴きながら飲食を楽しめる
- ・トイレが少ない。もっと多くトイレがあれば、よりリラックスして公園を利用できる
- ・真ん中に棒があるベンチが多く、横になって休めない

<多文化共生>

- ・木の根により凸凹になっている坂の部分が危険と思いきや、子供たちが走り回って遊んでいた。遊べるところで、安全にすべき場所をすみ分けて利用できるようになると良い

《実施状況》

